区分・種別	重要文化財(石造物)		
名　　称	五輪塔(ごりんとう)　　２基		
所　在　地	今治市野間		
所　有　者	野間部落	管 理 団 体	今治市
指定年月日	昭和29年3月20日		
解　　説	野間部落の北西部にあたる通称「覚庵(かくあん)」という田の中に保存されている。一つの基壇上に大小２基の五輪塔が並んでいる。大きい方は総高240cm、基壇を含めると高さ265cmである。小さい方は総高220cm、基壇を含めると高さ245cm、いずれも花崗岩製である。 二つの五輪塔には刻字等はなく、ともに荒打の地肌である。地輪から空輪に至るまで均衡がとれ、雄大重厚な鎌倉時代の特色を示す優品といえよう。 地元では、古来より当地の領主であった岡部十郎夫妻の墓と伝承されてきた。平成元年度に解体修理が行われた。		